



# ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆  
 ~あなたの悩み事は当社までご相談下さい~  
 【今月の一冊】 新・生産性立国論  
 デビッド・アキソン 著 東洋経済新報社  
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2019年1月1日 Vol. 195  
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション  
 ライフコンサルタント 渡邊敏徳  
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地  
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

## 未来の姿

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年の終わりには株価が急落し、年明けも2万円を割りこみ何か不安のよぎるスタートとなりました。今年は消費税の値上げも予定され、東京オリンピック前の日本経済がどんな状況になるのかとても気になるところです。

私も大切にしていることでもありますが、発展成長している会社には明文化した経営理念やビジョンがあります。考え方の基準となるものがあることは判断に迷った時には決断しやすくなります。また、進むべき方向性が明確になっていることは具体的に行動しやすくなると思います。

同じようにこのような考え方を国家に引きかえてみれば、指針となる国家理念や目指すべき国家ビジョンを持たない国に発展繁栄が望めるのでしょうか。かなり前からこのような話は耳にしますが、依然として未来の姿が見えてきません。日本は行き当たりバッタリでその日暮らしの政策で乗り切ることを繰り返しています。「一年の計は元旦にあり」という言葉があるように、「国家百年の計」が求められているのではないかと痛切に感じます。

『China2049』という本の中に中国の国家百年の計を明確に持っていると紹介されています。中国共産党や人民解放軍は、共産党革命100周年に当たる2049年までに世界の経済・軍事・政治のリーダーの地位を米国から奪取することを狙う計画を「100年マラソン」と呼んでいます。中国はこのゴールに向けて着々とマラソンを走っています。最近アメリカが中国に対して行っている貿易に関する追加関税もこのことが大きく関係していると感じます。

経済大国になった中国ですが、裕福な人が3、4億人いても、約10億人の人たちが貧困に喘ぎ、まだ字も読めない人も何億人もいます。一人っ子政策による少子化は日本と同じ状況ですが、日本以上に深刻になっていきます。日本は国づくりに指針となる国家理念や目指すべき国家ビジョンを早く決めて取り組まないと、取り返しのつかないことになってしまうと思います。私たち一人ひとりが声を上げて意思表示をしていかなければいけませんね。



## 人間学の金言

『我を滅ぼす者は我なり、

人、自ら亡ぼさずんば、

誰か能く之を滅ぼさん』



ローマを亡ぼしたのはローマです。

日本を支えているものは日本です。

健康で生き生きとした人生を送れるかどうかというのも、

自分自身にあります。

(安岡正篤 「呻吟語を読む」より)

本年も皆様にとって素敵な一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



## 【座右の銘にしたい名言】



夢を追って、失敗してもいいじゃない。それでも何とかなるものよ。

(マヤ・アンジェロウ/米国の詩人、作家、公民権運動家)